

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
特許・商標訴訟特論		Z 119	2単位	4学期	ハイフレックス
Patent and Trademark Law Suits					
科 目 分 野		課 程 領 域			
知的財産経営		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス		連絡方法 / オフィスアワー		
佐竹 勝一 大橋 卓生	-		メールアポイントにて随時		

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
商標法特論1、2		

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標
授業の主題と概要

知的財産訴訟のうち、特に特許権および商標権に関するものについて講義・演習を行い、特許法及び商標法についての理解を深めることを目的とします。
特許権に関しては、抵触性及び有効性の鑑定実務・理論について学習します。
商標権に関しては、主として商標権侵害訴訟(差止め)の理論および実務について学習します。
訴訟制度の概要の講義から知的財産関連訴訟の実際上の対応まで幅広く実践的な知識を学習します。

到達(修得)目標

訴訟実務の修得

受講対象者

知的財産担当者、経営企画担当者、先端技術戦略・政策立案者、ITコンサルタント、その他

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

特許訴訟を8コマ、商標訴訟を8コマ開講する形態となる。開講日時に注意。

- ※ 欠席が、4コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
※ 担当する教員は実務家教員とする。
※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域(Y軸)		ヒューマンパワー(Z軸)		思考プロセス(X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム		
---------------	--	--

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	佐竹:特許訴訟 演習1 試験		事案説明書・関連資料の交付
2	佐竹:特許訴訟 演習2 試験講評		
3	大橋:商標訴訟 演習 試験 (試験の講評は解説を配布します)		
4			

評 価 の 方 法		
-----------	--	--

(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
特許訴訟	50%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
商標訴訟	50%	各教員50%の配分を統合し、総合評価を算出する。
合計	100%	評価は授業における平常点(20%)、課題(試験・起案)(80%)で判断する。

テキスト・参考図書など		備 考
-------------	--	-----

※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合がございますので予めご了承ください

テキスト (購入が必要)	『標準 特許法 第8版』高林龍著(有斐閣) ※民事訴訟法の条文が掲載されている六法(法文集)を持参してください。	講義資料については、 随時配布します。
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『専門訴訟大系2 知財訴訟』久保利英明・北尾哲郎編集(青林書院) 『令和5年改正 知的財産権法文集 令和6年4月1日施行版』(発明推進協会) 『新版 商標法』(第5版)末吉 互 (中央経済社)	

参 考 U R L				
適宜紹介予定				
コマ	学 習 内 容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	特許権侵害訴訟(1) ・特許権侵害訴訟の現状 ・特許権侵害訴訟の進行		佐竹	180分
	特許権侵害訴訟(2) ・特許権侵害とは・特許発明の技術的範囲①(権利解釈論その1) ・主張と立証			
3.4	特許権侵害訴訟(3) ・特許発明の技術的範囲②(権利解釈論その2) ・間接侵害		佐竹	180分
	特許権侵害訴訟(4) ・間接侵害・均等論 ・被告の抗弁と主張立証(1)			
5.6	特許権侵害訴訟(5) ・被告の抗弁と主張立証(2)		佐竹	180分
	特許権侵害訴訟(6) ・損害論概論・審決取消訴訟概論 ・訴訟の終了			
7.8	特許訴訟 演習1 ・特許権侵害訴訟実務－試験(訴状・準備書面等の書面、その他特許法の重要論点について、論述及び空白補充形式による)		佐竹	90分
	商標権侵害訴訟(1) ①商標権の基本概念(おさらい)②民事訴訟法の基本的な概念 ③商標権侵害訴訟の基本的な流れ・代理人の役割	事前配付資料の予習	大橋	90分
9.10	特許訴訟 演習2 ・特許権侵害訴訟実務－試験講評		佐竹	90分
	商標権侵害訴訟(2) ①商標権侵害訴訟における主張と要件事実 ②商標の類否判断と訴訟における主張立証(1)	事前配付資料の予習	大橋	90分
11.12	商標権侵害訴訟(3) 商標の類否判断と訴訟における主張立証(2)	事前配付資料の予習	大橋	180分
	商標権侵害訴訟(4) ①商品・役務の類否判断と訴訟における主張立証 ②真性品の流通と商標権侵害	事前配付資料の予習		
13.14	商標権侵害訴訟(5) 抗弁の主張立証(1)	事前配付資料の予習	大橋	180分
	商標権侵害訴訟(6) 抗弁の主張立証(2)	事前配付資料の予習		
15.16	商標権侵害訴訟(7) ①損害賠償請求/不当利得返還請求 ②審決取消訴訟概論 ③訴訟の終了	事前配付資料の予習	大橋	180分
	演習 商標権侵害訴訟－試験(訴状・答弁書の一部起案および重要論点について論述)			

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。